

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公開番号】特開 2019-79624 (P2019-79624A)

【公開日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報 2019-019

【出願番号】特願 2017-203784 (P2017-203784)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/24 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/24

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 16 日 (2019.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

緑色有機 E L 素子 1 0 G は、基板 1 1 側から、第 1 反射面 S 1 G、第 3 反射面 S 3 G および第 2 反射面 S 2 G をこの順に有している（図 2 C）。緑色有機 E L 素子 1 0 G では、第 2 反射面 S 2 G 側から光（緑色光 L G）が取り出されるようになっている。第 1 反射面 S 1 G と第 3 反射面 S 3 G との間には、発光中心 O G が設けられている。例えば、第 1 電極 1 2 は、第 1 反射面 S 1 G を間にして 緑色発光層 1 3 1 G に対向している。第 1 透明層 1 4 G は、緑色発光層 1 3 1 G（発光中心 O G）と第 2 反射面 S 2 B G の間に設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

第 2 反射面 S 2 R は、発光中心 O R（赤色発光層 1 3 1 R）を間にして第 1 反射面 S 1 R に対向している。この第 2 反射面 S 2 R は、例えば、反射性を有する第 2 電極 1 5 R により形成されている。第 2 反射面 S 2 B は、発光中心 O B（青色発光層 1 3 1 B）を間にして第 1 反射面 S 1 B に対向している。この第 2 反射面 S 2 B は、例えば、反射性を有する第 2 電極 1 5 B により形成されている。第 2 反射面 S 2 G は、発光中心 O G（緑色発光層 1 3 1 G）を間にして第 1 反射面 S 1 G に対向している。この第 2 反射面 S 2 G は、例えば、反射性を有する第 2 電極 1 5 G により形成されている。第 2 反射面 S 2 R、S 2 B、S 2 G は、第 1 透明層 1 4 R、1 4 B、1 4 G と、第 2 電極 1 5 R、1 5 B、1 5 G との界面により構成されていてもよい。第 2 反射面 S 2 R は、発光中心 O R から光学距離 L 1 2 の位置に配置されている。第 2 反射面 S 2 B は、発光中心 O B から光学距離 L 2 2 の位置に配置されている。第 2 反射面 S 2 G は、発光中心 O G から光学距離 L 3 2 の位置に配置されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 8 】

光学距離 L 1 3 , L 2 3 , L 3 3 は、例えば、赤色発光層 1 3 1 R の発光スペクトルの中心波長 λ 1 の光、青色発光層 1 3 1 B の発光スペクトルの中心波長 λ 2 の光、緑色発光層 1 3 1 G の発光スペクトルの 中心波長 λ 3 の光を、第 3 反射面 S 3 R , S 3 B , S 3 G と、発光中心 O R , O B , O G との間における干渉によって弱め合うように設定されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 1 6 】

表示装置 2 には、図 1 7 に示したように、カラーフィルタ層 7 4 を設けるようにしてもよい。カラーフィルタ層 7 4 は、例えば、封止基板 7 2 の一方の面（駆動基板 7 1 との対向面）に設けられている。カラーフィルタ層 7 4 には、例えば赤色、緑色、青色の各色に対応したカラーフィルタが画素毎に設けられている。